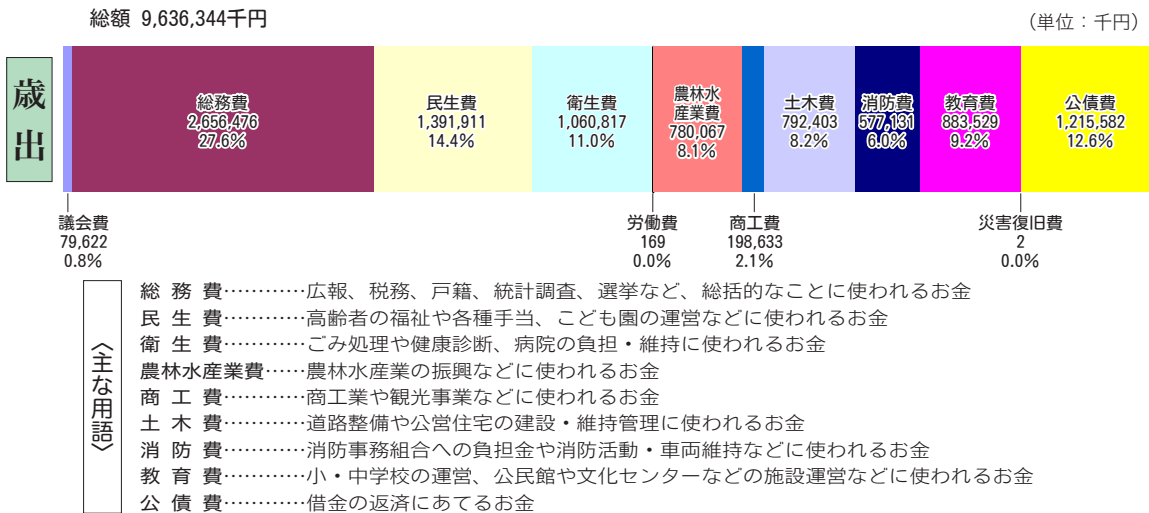
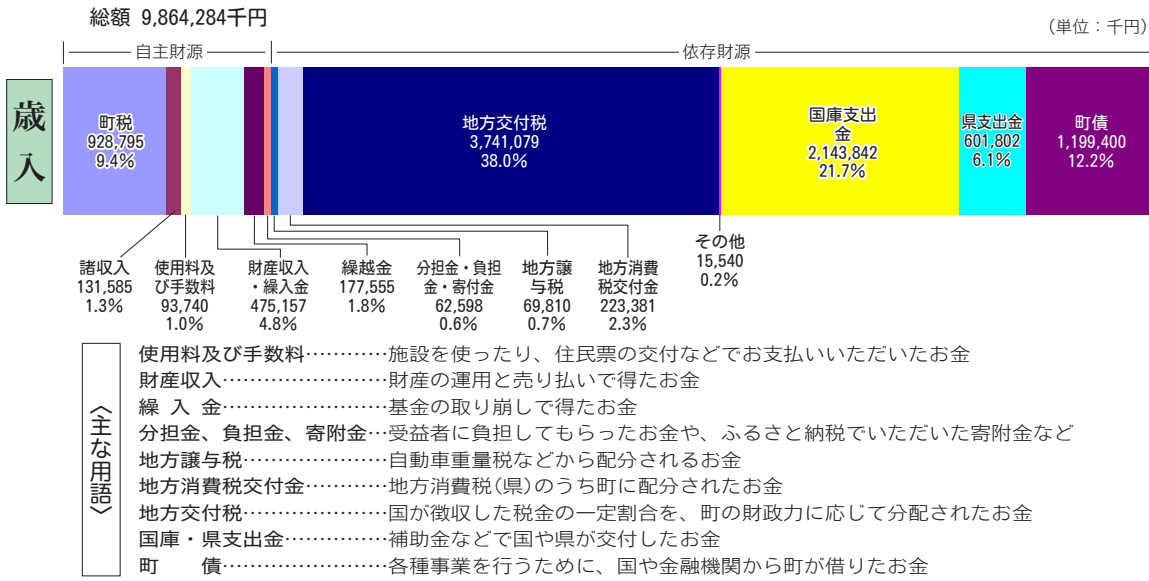


1 一般会計の概要

福祉や教育など、さまざまな場面で使われる一般会計。町の台所は、左で紹介している「特別会計」以外は、すべて一般会計で処理しています。



※四捨五入しているため一部合計が合わない場合があります

入ったお金、払ったお金の内訳を紹介します

2 財政健全化判断比率

この数値が基準を上回ると、財政運営が厳しいとして国に指定されます。町は、いずれの基準も下回りました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和元年度	—	—	10.5%	88.8%
令和2年度	—	—	11.1%	84.1%
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

〈各指標の解説〉

実質赤字比率……広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税などの財源規模(標準財政規模)と比べてどのくらいあるかを指標化したものです。

連結実質赤字比率……「一般会計」だけではなく、特別会計も含めた全会計を合算し、町全体としての赤字額を指標化したものです。一般の会社などで行われている「連結決算」と同じ意味合いを持ちます。

実質公債費比率……借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数字が大きいくほど、借入金返済に追われ、資金繰りが苦しいということになります。

将来負担比率……借入金の返済や将来負担することになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数値が大きいくと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きいくということになります。

こんな事業を実施しました

こどもり小中学校 建設工事業

252,384千円

令和4年4月より開校予定のこどもり学園の建設費です。

3 各会計別の概要

一般会計のほか、町には特定の事業を行う目的で設置される特別会計があります。

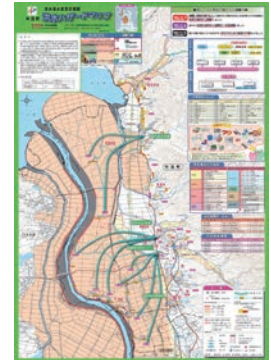
(単位：円)

	収入	支出	差引額
一般会計	9,864,283,591	9,636,344,033	227,939,558
国民健康保険(事業勘定)	1,681,566,354	1,592,392,473	89,173,881
国民健康保険(診療施設勘定)	143,692,842	143,691,510	1,332
介護保険事業	1,854,104,061	1,819,667,907	34,436,154
後期高齢者医療事業	285,312,022	281,727,610	3,584,412
農業集落排水事業	41,469,728	40,944,089	525,639
漁業集落排水事業	26,945,351	26,581,754	363,597
水道事業(収益的)	364,289,716	297,006,323	67,283,393
合計	14,261,663,665	13,838,355,699	423,307,966

こんな事業を実施しました

防災ハザードマップ作成事業

1,805千円



広報なかどり令和3年4月号とともに配布した防災ハザードマップの作成費用です。

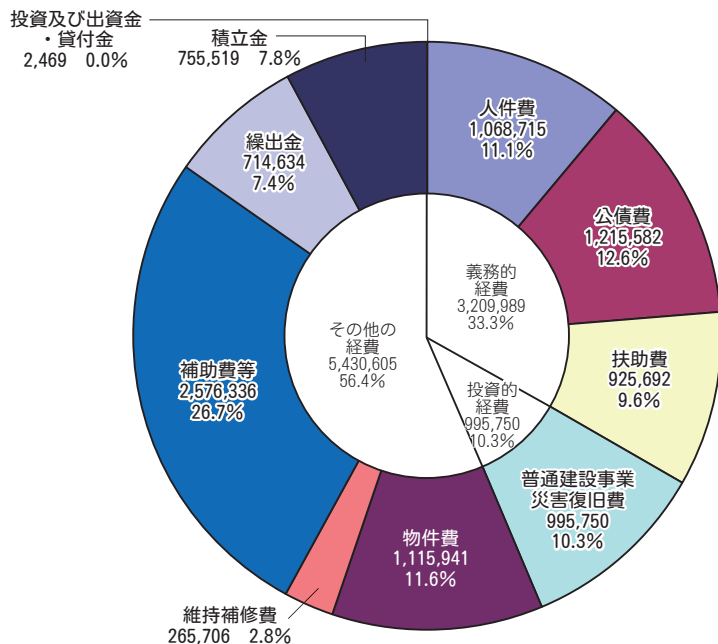


4 そのほか

●一般会計の性質別歳出

使ったお金の性質によって分けた表です。

(単位：千円)



●借金(公債費)残高

(単位：千円)

	令和元年度末	令和2年度末	比較増減
一般会計	11,945,663	11,979,470	33,807
国民健康保険	152,322	133,180	▲ 19,142
介護保険事業	0	0	0
農業集落排水事業	160,759	137,110	▲ 23,649
漁業集落排水事業	123,138	107,914	▲ 15,224
水道事業(企業債)	1,728,949	1,549,259	▲ 179,690
合計	14,110,831	13,906,933	▲ 203,898

令和2度

決算特集